

「里山の維持再生ゾーン」の実現に向けて

～市民協働による持続可能なまちづくりのモデルケースとして～

木津北地区活動団体からの活動報告を紹介します

鹿背山元気
プロジェクト

鹿背山元気芸術祭「みもろつく鹿背山物語」を開催！

11月14日・15日に、活動フィールドで「鹿背山元気芸術祭」を開催しました。あいにくの天気でしたが、ゲスト・スタッフに163人が集まり、ワークショップや設営作業を合わせると約350人の方が参加しました。開催に向けて、枯れ木伐採や草刈りをおこなったため、手入れされた明るい森で芸術祭を開くことができました。

参加された方は、里山の中に展示された作品や、木津高校吹奏楽部と地元音楽家が出演する里山音楽会など、自然の中で芸術を楽しみました。



また、木津高校からは、美術部や漫画研究会が出展したり、システム園芸科が竹ドームを作成したりするなど、里山活動への参加の輪が広がりました。

手入れをした明るい森では、新芽や昆虫・野鳥など、生き物のにぎわいが生まれます。芸術も生き物のように明るい森から生まれてくるのだと実感した2日間でした。

来年度は、「(仮称)鹿背山・森の学校」を開催して、生き物の観察や里山の手入れを積み重ね、里山資源や空間の活用方法を研究し、次回の芸術祭につなげたいと考えています。

鹿背山俱楽部

親子プチ里山農業体験(餅つき)を開催！

12月12日、親子プチ里山農業体験の第3回目の活動として、「餅つき」を2家族9人のご家族を迎えて開催しました。

農業体験は、6月の田植え、10月の稻刈り、12月の餅つきの年3回の活動を毎年おこなっています。今回の餅つきには、2歳から10歳までの子ども達が参加し、重たい杵を振ったり、顔に白い粉を付けながら餅を丸めたりなど、熱心に取り組んでくれました。

白餅以外にも、緑のヨモギ餅、赤いえび餅、紫の芋餅など色とりどりのお餅を作り、きなこやあんこ、雑煮、納豆などの色々な食べ方を



楽しみました。子ども達からは、「10回以上ついたけど杵は重かったな。なっとう餅がおいしかった。」「ぼくは、きな粉が好き。つきながら、おいしそうなお餅だなと思った。」「できたてのお餅は柔らかくてほっぺたみたい。鏡餅は大きくて作るのがむずかしかったです。」など、様々な感想が聞けました。

餅つきの後には、畑で大根とお芋を収穫し、カラフルなお餅と一緒に持ち帰ってもらいました。来年度も計画したいと思っていますので、皆さん、ぜひ参加してください。



木津北地区保全推進室（都市計画課内）☎ 75-1222